



いつまでも住み慣れた地域で暮らしつづけるために

第3回 小学校廃校舎を拠点とした地域づくり

上野山 裕士

今回は、和歌山県海草郡紀美野町上神野（かみこうの）地区における小学校廃校舎を拠点とした地域づくりについてです。上神野地区では、2015年に廃校となった上神野小学校の校舎（2006年に休校）を拠点に、地域住民のみなさんと学生とが活動を行っています。同地区での活動には地域への移住者（同町では都市部からの移住支援を積極的に行っています）が多く参加していることも特徴のひとつです。

地域での活動は、2014年に一回生6名でスタートしました。その後、2015年26名、2016年度28名、そして今年度は20名と非常に多くの学生が参加し、地域の方々とさまざまな活動を行っています。これまでに取り組んできたプロジェクトは、紀美野町PR動画づくり、小学校で実施されるイベントの運営補助、小学校校庭での石窯づくり、大学祭や農林商工まつりでの地域特産品販売、まちあるきによる観光資源の掘り起こしなど、多岐にわたります。当初は地域の方々のお手伝いが活動の中心でしたが、徐々に学生主体による企画・立案もみられるようになり、今年度は、子どもたちを対象としたイベントを学生主催で実施する予定です。

上神野地区での取り組みは、地域づくりにおける外の



視点と地域拠点の重要性を教えてください。前者について、はじめに示したように、上神野地区での活動には移住者が積極的に参画しており、地域づくりにおいても重要な役割を担っています。また後者については、人びとが集うことのできる建物（いわゆるハコモノ）をただ作ればよいというわけではなく、地域の人びとが愛着を持つ小学校を交流の場としたことにより、住民のみなさんにとっての心理的・空間的な拠点が創出されたという点に大きな意味があります。今後も小学校を拠点とする取り組みのなかで、大学生が、新たな発想や視点を地域に持ち込み、住民のみなさんとともに地域を盛り上げる存在であってほしいと願うばかりです。

くうえのやま・ゆうじ / 和歌山大学 観光学部

特任助手 / 博士（人間科学）>

第93回 わだいの浪切サロン

和歌山大学・岸和田市地域連携事業

場所と住まい～紀の国住宅プロジェクトで考えていること～

話題提供者 高砂 正弘（和歌山大学 システム工学部 教授）

日時 2017年6月21日 水 19:00～20:30

場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

「家を建てる」VS.「家を買う」 いつから、家は建てるものから、買うものになったのでしょうか。これからの住まいについて、皆さんと考えたいと思っています。

わだいの浪切サロンとは？

毎月第3水曜日（2月と8月を除く）の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。申込み不要、参加費無料。

お問合せ先：和歌山大学岸和田サテライトオフィス 〒596-0014 岸和田市港緑町1-1 浪切ホール2F

TEL & FAX：072-433-0875

岸和田サテライト 検索